

日中戦争は、計画性も戦略もない、愚かな戦いでした。  
中国人による度重なるテロ行為にお灸をすえてやるといった感じで始めたものの、気づけば全面戦争になっていました。



現地の軍の主導で行なわれ、政府がそれを止めることができない異常な状態でした。

(五・一五事件や二・二六事件の影響大)

そして、日中戦争が始まった翌年の1938年、

## 国家総動員法

が制定された。

なんでもアリ法

『戦争に必要な物質や労働力、国民生活のすべてを議会の承認なしで戦争のために使える』  
という、とんでもない恐るべき法律。

これに基づき、一般国民は軍需産業に動員される(国民徴用令)が出され、女性も動員された。

1941年には、小学校が(国民学校)に改められ、いっそ軍国主義的な教育がなされた。

米・砂糖・マッチ・衣類などの生活必需品は



・(切符)制や(配給)制となりました。

住民がお互いの生活を監視し連帯責任が強制される組織(隣組)を町や村のすみずみまで形成された。

江戸時代の五人組  
みたいなカンジ